

まことの道【弥生】三月

やよい

上皇后陛下

今ひとたび
立ちあがりゆく
村むらよ
失せたるもの
面影の上に



神話冊子「みんなの神さま」を無料で差し上げます。詳しくは神社庁HPをご覧ください。直接お電話(045-761-6387)下さい。

家庭祭祀のおすすめ

人生の節目には氏神さまへ感謝の気持ちを捧げ

ご奉告に参拝しましょう。



●初宮詣

男児は生後三十一日目、女児は三十三日目に氏神さまへ参拝し、安産の御礼と子供の健やかな成長を祈願します。

●七五三祝

三歳を髪置(男女)、五歳を袴着(男)、七歳を帯解(女)のお祝いとして氏神さまへ参拝します。

●安産祈願

妊娠五ヶ月目に安産を願う戌の日に氏神さまへ参拝します。

●歳祝い

六十一歳の還暦、七十歳の古稀、七十七歳の喜寿、八十歳の傘寿、八十八歳の米寿、九十歳の卒寿、九十九歳の白寿
長寿を祝い、家族親族が寄り集い氏神さまへ参拝して日頃の感謝とますますの健康、長寿を祈願します。



神奈川県
神社庁
ウェブサイト

節句について

雛祭は、上巳の祓と、古来よりある雛遊びとが一緒になったもので、雛に災いなすものを託して、流し祓い去ったことから始まったといわれます。

現在のように三月三日に行われるようになったのは、江戸時代の頃からで、女兒が健康で丈夫に育つようにと、祈って行われる年中行事です。

また、五月五日はこどもの日ですが、古くはこの日に菖蒲ししゅうや粽ちまきで、邪気を祓い厄を除く日と云う信仰に基づいて来たものです。

この日飾られる五月人形も本来は、季節の変わり目に穢れや厄を人形に託して流したもので、それが次第に、幟、兜人形等を飾ることとなり男児の成長を祈念するものとなりました。

神奈川県神社庁

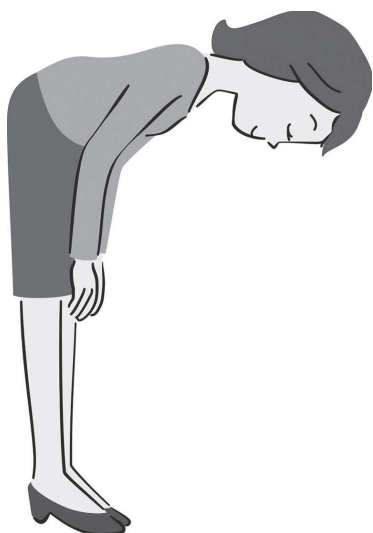
〒235-0019横浜市磯子区磯子台20-1
TEL:045(761)6387 FAX:045(761)0100
E-mail:k-jinjacho@kanagawa-jinja.or.jp



ご自由に一枚ずつお持ち下さい。

〈拝礼の作法〉

二拝二拍手一拝で
お参りしましょう。

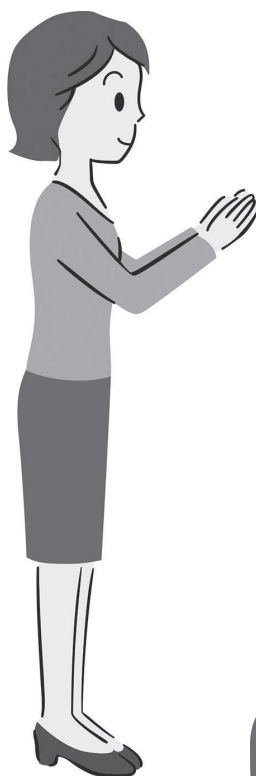


1

まず二回深く
頭を下げます。

2

二拝したあと、
胸の前で両手を合わせ、
右手を少し下にずらして
二回手を打ちます。
二拍手のあと、
両手の指先を揃えて、
祈りをこめます。



3

最後にもう一回深く
頭を下げます。

